

I 水産物の価格予想

1 総論 ～全般的に「前年並み～高め」～

- ・全般的には円安、地球温暖化や資源枯渇による漁獲量の減少、世界的な和食ブームによる品薄等により概ね「前年並み～高め」の傾向となっている。

2 水産物の価格の見通し

(1) 前年と比べて高い傾向にある品目（価格が前年比+11%以上）

1	まだい	生育があまりよくないため高め。
2	いか	乱獲等による水揚げ量激減と加工原料確保のため高め。
3	タラバガニ	ロシアからの輸入規制強化により入荷量激減し過去最高値。
4	甘えび	ロシア産の主要船の廃船による入荷量減少と、中国の需要増のため高め。
5	塩ざけ	海流の変動により秋鮭の水揚げが減少し高め。
6	いくら	秋鮭の水揚げが少なく、原料減少が製品単価に影響して高め。
7	すじこ	国産は秋鮭の水揚げが少なく原料が少ないため高め。

(2) 前年と比べてやや高い傾向にある品目（価格が前年比+3～10%）

1	かれい	産地である東北地方の相場の影響でやや高め。
2	まだら	入荷量減少によりやや高め。
3	ふぐ	養殖の生産者が減り絶対数が減少したため、やや高め。
4	煮ダコ	アフリカ産原料減少のためやや高め。
5	ブラックガ -	中国の需要増のため相場上昇も、バナメイエビへのシフトもあり、やや高めで横ばい。
6	かき	昨年並みの数量だが、資材等の経費上昇のためやや高め。
7	酢ダコ	アフリカ産の原料減少による原料高の影響でやや高め。
8	数の子	アメリカ、カナダで漁獲量が減少し、原料の搬入が昨年より少ないためやや高め。

(3) 前年と比べて同程度の品目

1	あじ	水揚げ量は減少気味だが、年末に向けて需要も減少するため前年並み。
2	サバ	小さいものが多く、鮮魚として出荷されるものは少ないが、年末に向けて需要も減少するため前年並み。
3	はまち	例年より値動きが鈍く前年並み。
4	まぐろ(脂身)	搬入が少なく、水揚げされる個体の脂身が減少気味で、前年並みで高め。
5	まぐろ(赤身)	搬入が少なく、水揚げされる個体の赤身が減少気味で、前年並みで高め。

6	たらこ	原料の搬入は少なかったが、繰り越し在庫があるため前年並み。
7	めんたいこ	原料の搬入は少なかったが、繰り越し在庫があるため前年並み。
8	かまぼこ	すり身の原料価格が昨年並みで推移しているため前年並み。
9	伊達巻き	すり身と鶏卵の原料価格が昨年並みで推移しているため前年並み。

(4) 前年と比べてやや安い傾向にある品目（価格が前年比－3～10%）
該当なし

(5) 前年と比べて安い傾向にある品目（価格が前年比－11%以上）

1	ぶり	昨年は水揚げがほとんどなく高値だったため、前年に比べると安め。
---	----	---------------------------------

II 野菜の価格予想

1 総論 ～全般的に「前年並み～やや高め」～

- ・定植期の9月の長雨や台風、成長期の11月の降雪などの天候不順により、不作または生育遅れの影響で、比較すると概ね「前年並み～やや高め」の傾向となっている。

2 野菜の価格見通し

(1) 前年と比べて高い傾向にある品目（価格が前年比＋11%以上）

1	小松菜	11月の成長期の降雪による路地作への影響が大きく、埼玉県産の出荷量が大きく減るため高め。
2	はくさい	9月の天候不順の影響で不作のため高め。
3	ブロッコリー	9月の天候不順（高温・長雨）による病気の発生及び生育不良により高め。
4	かぼちゃ	輸入（メキシコ・トンガ）及び国産ともに不作のため価格も高め。
5	くわい	台風や長雨が原因の水温の低下による生育不足で価格も高め。
6	ばれいしょ	台風による冠水等による被害が発生。平年比8割程度の入荷のため、高め。

(2) 前年と比べてやや高い傾向にある品目（価格が前年比＋3～10%）

1	キャベツ	昨年の豊作に比べると価格はやや高めだが、年末年始は需要が下がるため価格は平年並み。
2	ねぎ	出荷については概ね回復傾向だが、他品目の高値に引きずられてやや高めで推移する見込み。
3	ほうれんそう	8～9月の天候による定植の遅れと11月の降雪による被害により、出荷量が前年比95%でやや高め。
4	ピーマン	天候不順の影響で、昨年より出荷量は少なくやや高め。
5	ごぼう	夏場の台風の影響により出荷量が昨年に比べ少ないためやや高め。
6	だいこん	天候不順の影響で、昨年よりサイズが小さく価格もやや高め。
7	にんじん	9月の台風の影響により出荷減の見込み。それに伴い価格もやや高め。

8	やつがしら	作柄は良好の見込みだが、高齢化により作付面積が減少傾向でやや高め。
9	れんこん	9月の台風の影響により出荷量は前年の1割減の見込みでやや高め。
10	えのき	生産量は変わらないが、他の野菜の高値の影響により値ごろ感から引き合いが強くやや高め。
11	舞茸	大手量販店と直接取引のある準大手メーカーが生産に失敗した影響を受け、今年はやや高め。
12	三つ葉	出荷量自体は昨年並みの見込みだが、秋口からの高値基調に引きずられてやや高め。

(3) 前年と比べて同程度の品目

1	春菊	11月の降雪による路地物への影響が大きく、やや高めで推移しているが、昨年からやや高かったため前年並み。
2	たまねぎ	収穫直前で台風の影響を受けたものの、被害は部分的だったため前年並み。
3	きゅうり	定植時の天候の影響で出荷時期の遅れがあり、品薄感から高値基調。昨年はやや高めだったため前年並み。
4	トマト	9月以降の急激な高値も落ち着いてきて、年末年始は前年並み。
5	なす	年末にかけては平年並みに落ち着いてくる予定で前年並み。
6	さつまいも	生育は順調で出荷量は前年並みの見込みのため価格も前年並み。
7	生椎茸	量販店と産地の直接取引が増え年々相場が安定傾向になり前年並み。
8	本しめじ	メーカー主導の価格形成で需要にあまり左右されず前年並み。
9	エリンギ	きのこ各種の中では年末に向け需要が減り前年並み。

(4) 前年と比べてやや安い傾向にある品目（価格が前年比-3～10%）

1	レタス	雨で生育が遅れていたのが追い付き、入荷は平年よりやや多い見込みで、価格もやや安め。
2	里いも	今年は降水量が多く大玉傾向で、価格もやや安め。

(5) 前年と比べて安い傾向にある品目（価格が前年比-11%以上）

該当なし

III 果物の価格予想

1 総論 ～全般的に「やや高め～高め」～

- ・豊作や需要減による安値傾向のものもあるが、天候不順による生育不足の影響などにより、全体的に概ね「やや高め～高め」の傾向となっている。

2 果物の価格見通し

(1) 前年と比べて高い傾向にある品目（価格が前年比+11%以上）

1	グレープフルーツ	産地の天候不足により生育不足。数量減で小玉傾向により高め。
2	みかん	本年は裏年に当たる不作年。産地の夏の干ばつと10～11月の降雨の影響で、正品率も下がり数量が少ないため高め。

(2) 前年と比べてやや高い傾向にある品目（価格が前年比+3～10%）

1	オレンジ	アメリカ産は関税の影響で単価高で数も少なめ。ただ冬場はミカン人気でオレンジの需要が下がるため、値段はやや高め。
2	りんご	青森県産を中心に輸出が堅調で国内向けの出荷が減少。また今年は作柄が不良で生食向け出荷量も多くないためやや高め。

(3) 前年と比べて同程度の品目

1	いちご	昨年の前進出荷の反省で今年は定植の分散がされたが、秋口に高温多雨だったため、サイズは小さめで出荷はそれほど多くない見込み。価格の高かった前年並みで高め。
---	-----	------------------------------------------------------------------------------

(4) 前年と比べてやや安い傾向にある品目（価格が前年比-3～10%）

1	柿	種無柿が豊作で単価安で推移。富有柿は荷動きが悪く単価が落ちた。
2	バナナ	一時期のブームが過ぎて消費は鈍化。秋以降は需要より入荷量が多いためやや安め。
3	レモン	生産は順調で入荷量も例年並みのためやや安め。

(5) 前年と比べて安い傾向にある品目（-11%以上）

該当なし

IV ガソリン・灯油の価格予想

1 ガソリン・灯油の価格動向等について

- 前年と比較すると、原油価格の上昇や在庫不足等の影響により、灯油価格は高くなる見込みである。
ガソリン価格は灯油ほどではないが、原油価格の上昇の影響で上昇傾向と見込まれる。
- 灯油の在庫は不足気味だが、石油製品の輸入などにより対応している。
ガソリンについては在庫量は十分に確保されている。